

ホームページより登録会員情報の更新が可能です

【登録会員情報変更の方法】

1 同窓会 HP 右上の お問い合わせ をクリック



2 「住所変更届け」「新規会員登録」「ご連絡の停止」「お問合せ」いずれかを選択し、情報を送信してください。



お問い合わせページへの直接アクセスはこちら

TEL & FAX でも受け付けています



TEL : 03-3704-0266



FAX : 03-3704-1817

※ TEL & FAX での変更等のご連絡の際は、登録番号をご準備のうえ、お問い合わせいただくとスムーズです。(登録番号は宛名シールに記載されています)

## 寄付金のお願い

学校法人日本体育大学は「体育」を通じて世界に貢献します。

### ご支援をお考えの皆様へ

学校法人日本体育大学は1891年(明治24年)に創設以来、建学の理念である「體育富強之基」に則り、知育、徳育を育み、健康を増進し、日本・世界の平和と発展に貢献する学生・生徒を育成することを旨として取り組んでまいりました。

現在、本法人は日本体育大学、日本体育大学荏原高等学校、日本体育大学桜華高等学校、日本体育大学柏高等学校、浜松日体高等学校、日本体育大学附属高等支援学校、日本体育大学桜華中学校、浜松日体中学校、日体幼稚園、日本体育大学医療専門学校を設置し、学生・生徒数は約1万人を擁するまでになりました。

当法人および各設置校へのご支援いただいた寄付金は、本法人事業として、スポーツ選手強化・指導者育成や国際交流によるグローバルリーダー育成、教育研究環境の充実・発展や学生・生徒への奨学金などを目的とし、その成果を通じ、広く社会に貢献還元致します。

皆様からのご支援、ご協力が大きな支えとなりますので、是非ご賛同いただき、多くの方々のご寄付をお願い申し上げます。

### 寄付金お申込み方法

寄付金の詳細は、下記に記載のWebサイトをご覧ください。Webサイトでは、手続きに便利な「お申込みフォーム」を提供しています。ぜひご利用ください。Webサイトへは下記のURLからアクセス可能です。その他ご不明な点は「寄付金各種お問い合わせ」までご連絡ください。

※各設置校で個別に実施している寄付金事業については、各学校へお問い合わせください。



<https://www.gaku-nittai.ac.jp/donation.html>

### ご寄付に対する税制上の優遇措置

当法人に対するご寄付は、税制上の寄付金控除の措置を受けることができます。必要となる書類は、寄付金の入金確認でき次第、ご送付させていただきます。

### 寄付金に関するお問い合わせ

学校法人 日本体育大学 法人事務局 総務部 経理課  
〒158-0081 東京都世田谷区深沢7-1-1  
日本体育大学 東京・世田谷キャンパス内  
TEL : 03-3704-5201 FAX : 03-3704-3336  
E-mail : kifu@gaku-nittai.ac.jp



「日體人」を揮毫させていただき光栄にあずかった。日体大は、体育・スポーツの指導者、研究者を育成する日本を代表する単科大学として歴史を積み重ねてきた。そのキャンパスで学んだ同窓は、エッサッサ、荏原体育を無心で演じてきた同志である。理不尽さに耐えつつ、常に夢を描き、犠牲的精神を発揮する習性を身につけた異色な人類。それが「日體人」だと私は実感している。この人類は、同窓の絆を財産以上に大切にしている習性をも身にまとう。われらの誇りである。日体大は小さいかもしれぬが、その存在感は計れぬほど大きい。(2012年11月創刊号より抜粋)

【題字】学校法人日本体育大学  
理事長 松浪健四郎

日體人 NITTAIJIN Vol.11

日本体育大学同窓会誌【日體人】VOL.11 2023年3月10日発行 発行・編集/日本体育大学同窓会  
TEL : 03-3704-0266 FAX : 03-3704-1817 URL : <https://www.nittai-club.com/> 制作協力/株式会社グイアックス

日本体育大学同窓会誌

# 日體人

vol. 11



# 2022 NITTAI-JIN

塩谷 和雄 日體未来応援団の可能性	2	今期総括 ～3年間を振り返る～	8
松浪 健四郎 日体大の今と昔	4	「日體未来応援団・新春名刺交換会」について	10
今村 裕 日体大グループの近況と 日体大同窓会連繋に向けて	6	『就活応援イベント』実施報告について	12
石井 隆憲 大学の取組と今後の計画について	7	第59回 体育研究発表実演会	14
		同窓会誌発行協力金について	18



# 日体大の今と昔

学校法人日本体育大学  
理事長 松浪 健四郎



## はじめに

令和5年1月7日。この日は日体大同窓会の革命記念日だと私の眼に映った。「日體未来応援団」と銘打った新春名刺交換会が、東京の帝国ホテルで開催された。一般企業人の卒業生による新年会、約100名の皆さんが全国から足を運んで下さった。教職員という学校勤務以外の起業家や自営業者の卒業生の方々が、この初めての催物に参加してくれたのは驚異的であった。総合大学化しつつある日体大にあって、強力な応援団の誕生という印象をうけた。「始まり!」、新しい同窓会のあり方を示唆し、私たちの今日までの伝統も大切だが、教職関係者中心の同窓会から脱皮を告げられた気がした。全国には市町村長をはじめ地方議員も多い、この地域社会の担い手を無視した感じもあったが、次回からはより多くの卒業生に参加していただけるように工夫、研究をお願いしたい。

大学の改革にともなって、同窓会も変化していただかねばならない。数年後、まちがいなく大学も冬の時代を迎える。日体大が生き残るためには、同窓会の協力が不可欠、今のうちから連携をより強化しておく必要にかられる。コロナ禍によって、同窓会活動も低迷していたが、今年から元気を回復させ活発なプログラムを期待する。大学と同窓会は一心同体、さらに組織力を高める努力をお願いする。

## 日体大の方針

日体大には、「大学日本一」が多数あるが、大学にとって重要な面について記述する。まず、2021年の保健体

育科教員(中高)採用者数が日本一であり、支援学校教員採用者数も日本一。全国に「保健体育」の教員免許を出す大学が160校もありながら、伝統を死守してトップの座にあるのは、大学と同窓会で「教学舎」を盛り立てていただいている成果だと思われる。

支援学校教員免許は、北海道の網走市に日体大が全国の私立大で初めて高等支援学校を創立した際、同校を実習校にして免許を出せるようにした。そして、ついに採用者数がトップに立つことができたのである。共生社会を先取りし、障害者にも体育・スポーツを楽しんでいただくという考え方は斬新だったにつけ、先陣を切ったかいがあった。他大学では発想しない障害者への教育、歴史ある日体大はパラリンピックにも日本財団の協力を得て、選手の育成にも取り組んでいる。

共生社会のトップランナーであることと、グローバル化された社会で活躍する学生・卒業生が増加中でもある。JICA(国際協力機構)の青年海外協力隊派遣者数も、ついに日本一になった。2位立命館大、3位東京農大を抜き、国際協力で最も熱心な大学となった。日体大が国際人を量産し、世界中で活躍している関係者が多くなっている。スポーツ文化学部の中に、日本初の「スポーツ国際学科」を設置して、海外への派遣人材を養成中でもある。スポーツは、人類共通の文化であるゆえ、平和の大切なツールでもある。

保育士から大学教員まで教職に就く人材や国際社会で活躍する人材を養成しつつ、保健医療学部の設置によって医療界へも影響を与える大学へと転じている。くわえて、スポーツマネジメント学部の設立によって、各種業界へ就職する学生たちも増えてきた。公務員志

望者も多いが、これも大学の伝統である感じがする。社会貢献を考えながら、将来の自分らしさの発揮できる仕事に従事しようとする真面目な学生が多数を占めるのは、建学の精神が浸透しているからであろう。

## 日体大小史

「富国強兵」政策時代の明治24年にスタートを切った日体大は、太平洋戦争に突入する前、海洋体育科と航空体育科を設置した。「海洋体育科」は、軍艦や潜水艦に乗り込む海軍兵幹部の養成だったという。また、「航空体育科」は空軍パイロットの育成で、特攻隊員を送り出した学徒動員の悲しい歴史が日体大にある。

私立学校でありながら、政府の支援を得る特異な学校であったゆえ、残念ながら戦争に最も協力する立場に立っていた。400名近い出陣した犠牲者を祀る慰霊碑(1958年建立)に手を合わせねばならないのは、軍国主義の時代だったとは言え、私たちの先輩が国家・国民のために尊い命を捧げたからである。私が理事長就任と同時に、慰霊碑に毎日花を供えることにしている。犠牲になられた先輩たちの存在を永久に忘れることなく、大学の発展を見守っていただきたいと願うとともに、平和のために努力するという誓いでもある。

明治32年の第13回帝国議会は、日本体育会(法人・日体大の前身)に教育のために政府が大きな資金を提供することを決定。私立ではあるが、体育教員養成、軍隊強化のできる組織が他に日本にはなかったからである。その資金管理と運営のための委員会が学内に発足、そのなかに有力者が多数いたが、渋沢栄一翁の名前もある。会議は、いつも渋沢翁の建てた帝国ホテルで開催されたと記録にあり、現在もこのホテルを日体大は利用している。国家に従属・協力した本校は、その姿勢を第二次世界大戦の終了時まで継続するに至った。戦後、すぐに東京高等師範学校であった東京教育大(現・筑波大)と日体大両校にだけ保健体育教員免許を出すことを文部省が認めたのは、戦前からの実績と功績によるのか。

現在の日体大のミッション(使命)の③に以下のように記述されている。『スポーツ文化・発展に努め、オリンピック・パラリンピックムーブメントの精神の実績・普及を推進し、スポーツのもつ様々な「力」を活用して、国際平和の実現に寄与する』と。社会的使命、果

たすべき役割、存在意義は国際平和の実現に貢献することこそが日体大の仕事である。画餅に帰することなく、戦前の反省を込めて行動力を発揮したいと考える。2013年から、国交のない北朝鮮とスポーツ交流を続けているのは、ミッション達成のための一つでもある。

## 体育大の宿命

私は、ロシアの国立青少年観光・スポーツ大学(旧ソ連のモスクワ体育大学)を6年前に訪問した。かつては世界のスポーツ界で活躍するアスリートを輩出する、総本山のような大学。CCCPの強さに圧倒されたものだ。博物館に案内されて驚く。戦前、「パラシュート学科」を設置し、特別な空軍兵を養成したと言う。同時に昔からノルディックスキーの開発と研究に力を入れていて、そのコレクションは圧巻だった。競技スキーのための開発ではなく、陸軍兵の移動する歩行のための研究だったと言う。どこの国の体育大学でも、特殊な身体能力を持つ学生を集めているからか、軍隊に協力する宿命を背負った歴史をもつ。

日体大だけが悲しい歴史を背負ったのではなかった。「なぜ、観光とスポーツを教えるのですか」との私の質問に学長が応えた。「両方とも平和でなければできないからです」。ロシアのウクライナへの軍事侵攻が続く。この悲劇は、いつまで続くのか心配である。私はキーウ(キエフ)でレスリングの試合をしたのは1967年、美しい古都であった。日体大3年生の時のソ連遠征で訪れた。56年前のことだ。

## おわりに

どんな人材を社会に送り出すか、大学の真価が問われる。学問の府での体験と人間関係の構築、深遠な真理の追求心と個性の発揮など、4年間では不十分であるかもしれない。だが、同窓が全国にいて、あらゆる角度から応援・協力してくれれば、己の心に磨きがかかる。そこに同窓会の有難い存在価値があるばかりか、日体大特有の互助会的力が働く。そのためには母校日体大に愛着を感じていただければ有難い。誇れる大学に発展させ、魅力的な大学にしたいと思う。創立132周年を迎えた日体大、同窓の皆さんの応援を心からお願いする。

# 日体大グループの近況と 日体大同窓会連繋に向けて

学校法人日本体育大学  
常務理事 今村 裕



学校法人日本体育大学は今年で132周年を迎えることとなり、これまで支えてくださった皆さまに心より感謝申し上げます。

日本体育大学は創立以来、体育学部1学部だけでしたが、短期大学を平成25年児童スポーツ教育学部として改組したのを皮切りに5年間で4学部設置、5学部となりました。

近年、入学者が定員割れした4年制私立大学は、全体の46.4%あり、本学も一部の学部学科で定員割れが生まれました。

新型コロナウイルス対策で数年経過し、やっと終息が見込まれつつありますが、大学の情報は全てインターネットで知ることができ、こういう時期に本学に入学してくる学生が何を求めて入学してくるのか、教育内容、研究内容を含め、組織をあげてその向上と確立に努めなければなりません。

今年は、北海道網走に開校した日体大附属高等支援学校が開校7年目を迎え、3月5日(日)には第4回目の卒業式が行われました。

日体大附属高等支援学校の魅力は、雄大な北海道網走の自然環境、その中で未来に向かう生徒たちの笑顔や元気の良さ、礼儀正しき、そして教職員の温かさ、寮の設備などであり、正にこれらは実際に支援学校に行かなければ分からない魅力です。

今年は、一度、支援学校を訪れてもらい教育環境や寮の魅力を体感してもらうための「学校見学ツアー」を企画することになりました。未だ行かれていない同窓生の皆様は是非とも一度網走を訪れてみて下さい。

ところで設置校のなかで、昨年末から新年にかけて日体大柏高校が全国高校サッカー選手権に千葉県代表として出場しベスト8まで勝ち進みました。学園設置校としては初めての快挙でした。日体大荏原高校硬式野球部も夏の大会で善戦し準優勝まで勝ち進み、あと一息で甲子園出場の可能性を残しました。

生徒募集状況も設置校の中では、日体大荏原、柏、浜松は、大変順調に行っております。桜華、医療専門学校は若干苦戦しておりますが、年度末に向け、懸命に努力しており、結果に期待しております。幼稚園は新園舎建設も順調に進んでおり、4月には新しい園舎で新入園児を迎えることになっております。

大学も総合型選抜、学校推薦型選抜など年内入試においての志願者実人数はここ10年で過去最高値を達成し、初めて2,000名を突破いたしました。

また、大学は今年度、スポーツマネジメント学部定員増を文部科学省に申請しており、承認されると、大学の入学定員は1,770名から1,870名に移行し、8,000名規模の大学に近づきます。横浜・健志台キャンパス再開発計画も順調に推移しており、経過について改めてご報告させていただきます。

また、コロナ禍で中断していた地方自治体との連携協定も1月23日(月)に石川県と、2月7日(火)に鳥根県大田市と、2月25日(土)に長野県東御市と締結し、締結した自治体は76自治体となります。この協定により、将来の入学生獲得に向け、布石を打つことが出来ると考えております。

組織の改善に終わりはなく、改善のネタはゴロゴロしております。改善すべき点はまだまだあり、改革改善の意識を常に維持しながら日々泰然と努力しているところであります。

そんな中、令和5年1月7日(土)に帝国ホテルにおいて開催された「日體未来応援団・新春名刺交換会」には、同窓生が100名近くが集ってくださり、卒業以来、初めて大学の情報に接した同窓生から非常に感慨深いものがあつたとの感想が寄せられました。正に、人生は出会うべく人には必ず逢える、しかも一瞬たりとも早からず遅からずという言葉どおりの画期的な会となりました。

強い伝統を持つほど、その見直し、改革には特別な努力が要ります。日本体育大学同窓会は、法人同様、伝統の継承と伝統からの脱却、転換を同時進行させ、次代を担う若者のため確固たる地位を築かなければなりません。

実生活は、生中継ライブです。書道の練習に際して、清書用の紙が一枚しか渡されないと同様に人生も組織も一度しかありません。「今日という一日がいかに大切か」、このことを常に念頭に置き、今日の仕事は明日に延ばさぬよう努めていきたいと思っております。

最後に、同窓会の新たなステージに向けて同窓会員のさらなる躍進と日体大グループ全体と日体大同窓会の連繋がさらに進展することを期待し祈念し、挨拶とさせていただきます。

# 大学の取組と 今後の計画について

日本体育大学  
学長 石井 隆憲



同窓生の皆さん、平素は日本体育大学の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本稿では今年度(令和4年度)の大学の取組と現在進めている計画の一部について、ご紹介させていただきたいと思っております。

最初に令和4年度の大学の様子について報告いたします。令和4年4月1日からの1年間の期限付きではありますが、コロナ対策として授業時間帯を変更いたしました。授業開始時間を9時20分からとし、1時限目と2時限目、また3時限目と4時限目の間の休み時間をそれぞれ30分取り、そのほかの休み時間を10分としました。このことにより、学生の昼食時間を分散することができ、食事時のコロナ感染を抑制することができました。また、令和4年度は基本的に対面授業を実施しました。野外・冬季実習についても、昨年度の反省を踏まえて入念なコロナ対策をおこなうことで、中止することなく無事に実習を終えることができました。

令和5年度については、再び授業時間を元に戻し、2時限目と3時限目の昼の時間を50分間取り、昼休みを設けます。しかし、この時間に学食が大混雑を起こすことが予想されるので、その解消法としてキッチンカーの導入を予定しています。これにより学生は食事が取りやすくなるとともに、食事のレポートも増えるものと思われれます。

次にオープンキャンパスについてですが、今年度はコロナ前の状態にほぼ戻り、非常に多くの高校生とその保護者の皆様に大学を訪問していただきました。そうしたことが影響してか、今年度の入試も比較的順調に受験生を獲得することができました。また今年度、早い時期に一定数の学生が確保できた背景には、専任教員が指定校に対して足を運んで現状把握を行ったことも大きかったと感じています。

次に、現在進めている計画についても触れておきます。現在、スポーツマネジメント学部スポーツマネジメント学科では、100名の定員増を計画しています。マネジメント学科の学生募集が成功していることとも関係しますが、

この背景には現在の学生たちの志向が大きく関係しています。マネジメント学科の学生は教員免許取得希望者が少なく、企業への就職希望の割合が高いことが特徴の一つです。新聞報道にもあるように現在では教員のなり手が不足しており、もはや人気の職種ではありません。令和4年に行われた一般社団法人日本若者協議会の「教員志望者減少に関する教員志望の学生向けアンケート」によれば、「長時間労働などの過酷な労働環境」や「待遇(給料)が良くない」などの回答が多く、現代社会が求めているワーク・ライフ・バランスやコンピテンシー評価などとは、かけ離れた状況に置かれています。一方で転職の時代と考えられている昨今の価値観が反映されているのは企業であり、マネジメント学科の教育はそこと結びついているというわけです。

まさにこうした時代の流れに相応しい会が年明けに同窓会主催で開催されました。令和5年1月7日に「日體未来応援団・新春名刺交換会」が帝国ホテルで開かれ、代表取締役などの立場にある本学出身の同窓生約100名の方々が全国から駆けつけてくださいました。まさに、時代の先駆けともいえる諸先輩の経験知は非常に重要なものであると思いますので、近い将来、マネジメント学科をはじめとする本学学生にお伝えいただける機会を作っていきたいと思っております。また、このような趣旨の会が継続されることを願っています。

この他にも横浜・健志台キャンパスの再開発や新学部の設置構想、また英語による授業の試みなどありますが、これらについては次回にお伝えできればと思います。

最後になりますが、本学は今まさに大きな転換期を迎えています。同窓生の皆様のご支援、ご協力があつて成しえるものだと思っておりますので、これからも大所高所からのご意見を賜りますようお願い申し上げます。

# 今 期 総 括

## ～ 3年間を振り返る～

日本体育大学同窓会 会長 塩谷 和雄

令和2年(2020年)4月7日、安倍総理による緊急事態宣言の発令—コロナで始まった今期(令和2・3・4年度)は先が見えない現実の受容からの出発となった。役員改選期であったが、通常の役員会・代議員会の開催も儘ならぬ中、役員間で非日常のやり取りが始まった。母校では危機対策本部から次々と学生・教職員等の感染防止対策、授業や学友会活動等について対応方針が発出され、各界でイベント等が中止・延期・規模縮小に追い込まれ、徐々に我々同窓会役員の入構も叶わなくなっていった。

### 1 緊急学生支援

政府による学生支援緊急給付金の閣議決定、法人・大学、保護者会も相次いで支援策を急ぐ中、令和2年5月21日付け瀧澤康二前会長の発信文書により緊急提案が行われた。異例のスピードでの書面決議(事後承認)であったが、都道府県(支部)の総意に基づき、法人が創設・運用する「雄渾奨学金」に2,100万円の援助金を拠出した。令和4年度には現況に鑑み500万円の追加支援を行った。

独自の奨学金制度を有していない本会であるが、安定財源の確保による持続的な学生支援について、さらなる努力をして参る所存である。



### 2 新ブロック始動

関東と近畿それぞれが独立、北信越と東海両ブロックの統合により、従前の6から7ブロック体制へと改編された。長年の懸案事項であり、特に北信越各県には交通・経費等の課題がある中で協議を重ねていただき、代議員会の承認を経て、令和2年度より施行となった。しかしながら、初年度から足踏み状態となったのは資料の通りである。

保護者会と足並みを揃え、ブロック会議や都道府県単位の総会・研修会・親睦会など、可能な範囲で連携・併催を図ることを念頭に置いての改編。瀧澤前会長の熱い思いでもあった。令和4年度には早速、関東地区協議会(群馬県開催)及び大阪府同窓会100周年記念総会時の講演会、懇親会が保護者会と合同で行われた。新しい歴史の幕開けだ。



### 3 チャレンジ

ウイズ・コロナ研究の一環として、同窓会事務局ではWeb会議ツールZoomの契約・導入を図った。その結果、47都道府県50支部すべての接続が実現した。

さらに、令和3年度九州地区協議会では全体会に続き、分科会はブレイクアウトルーム機能を使って同時展開。加えて、閉会後は任意参加ではあったがオンライン懇親会を行うなど、九州ならではの元気な取組が見られた。一方、北海道地区協議会は札幌のホテル会場(集合・対面形式)と東京・世田谷キャンパスをオンラインで結ぶ「ハイブリッド開催」を実現させた。松浪理事長、石井学長にもビデオ参加をいただくなど、同窓会史上初となる試みが続き、多くの可能性が示唆された。例えば、ブロック会議や支部総会、研修会等に優れた学生アスリートや同窓オリンピック、活躍する卒業生・著名人、大学の教職員・研究者、起業家などを招待し、メイン会場とサテライト会場をオンラインで結ぶなど、多様な形態のコミュニケーションが創造できるのではないかと。ライブ配信に加え、参加・参集ができない方々のためにYouTubeによるアーカイブ配信等も有効である。

チャレンジと言えば、第59回体育研究発表実演会が九州(佐賀県)で単独開催された。早くから尾形会長・古川事務局長による先催地への視察が行われ、コロナ禍での大学との調整、企業等への協賛依頼・プログラム掲載、学生のワークショップ会場となる地元の学校との事前調整、佐賀県同窓会の皆様による雪と寒気の中での会場運営等々、そのご苦労、果敢な挑戦に心から敬意と感謝の言葉を申し上げる。児童・生徒、地域の方々との教育交流は参加者相互の心に深く刻まれたことだろう。どの会場にも「日体大」と記したのぼりが多数なびき渡り、演技プログラムの中では地元佐賀県出身の学生が随時紹介されるなど、母校のアピールになったことは勿論、日体大を目指す子どもたちが陸続と生まれるものと確信した。保護者会主催の懇親会席上、母校への寄付金が佐賀県同窓会長から石井学長に贈呈されたことも併せてご報告させていただく(P15参照)。



### 4 連携と共助

今期同窓会運営に係る第一のトピックは、大学事務業務改変に伴う事務局の移転である。教育研究棟4階から1階に移転。校友課と広報課が同事務所内にてワークシェアを行うこととなり、課長を含む両課員はともに兼務。校友課長は同窓会事務局長を担うことが慣例となっており、名実ともに同窓会長・幹事長・事務局長が三位一体の協働体制を執ることとなった。別掲「日體未来応援団・新春名刺交換会」が両課員の全面的なご協力により、成功裏に開催されたこともご報告申し上げます。

次に、本項を象徴する取組として、大学研究活動への協力を挙げたい。体育学部 岡本孝信教授による「日体大卒業生 健康寿命延伸プロジェクト」である。令和3年7月に石井学長を通じた協力依頼で始まり、前号で紹介させていただいた。すでに参加が募られているものの300名にも満たず芳しくない。類を見ないス

ピードで進行する超高齢化社会を見据えた価値ある調査研究であり、数字がものをいう世界だ。人員(母集団)の超拡大を図るべく、OBOG諸氏の積極的な参加を重ねて願います。

さらに令和4年度重点事業「就活応援イベント」については、大学の学修・キャリア支援部門と同窓会が有機的な連携を行い、「就活 KICK OFF～これに参加してスタートラインに立つ～」第2部を同窓会主催として開催できた。体育教師を目指しながらも企業人社会に飛び込んだ男女卒業生のトークセッションが、全国の保護者と都道府県(支部)向けにYouTube配信できたことも大きな収穫である(詳細はP12～13に掲載)。



以上、総括的に3年間を振り返ったが、冒頭の拙稿「日體未来応援団の可能性」と併せ、今期の取組からその心意気を感じ取っていただければ幸いです。

今期(令和2・3・4年度)諸会議・事業等の概要

会議・事業名等	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度
全国代表者会議(代議員会)	4/30書面(役員改選) 7/14書面(通常開催)	5/19書面+5/29オンライン懇談	5/28ハイブリッド (対面+オンライン)
ブロック会議※7ブロック改編			
①北海道地区協議会	9/12→中止	12/11ハイブリッド(札幌+世田谷)	8/27対面(道央)
②東北地区協議会	10/24→中止	10/23オンライン(福島県)	10/22対面(山形県)
③関東地区協議会	9/26→中止	12/18オンライン	9/24対面(群馬県) ※保護者会合同
④北信越・東海地区協議会	11/21→中止	中止	11/19オンライン(三重県)
⑤近畿地区協議会	11/14→中止	2/23オンライン	11/12対面(兵庫県)
⑥中国・四国地区協議会	7/11→中止	2/26オンライン	8/20対面(香川県)
⑦九州地区協議会	6/20→中止	6/12オンライン(宮崎県)	6/11オンライン(熊本県)
本部役員会	5/22書面 6/22書面 3/20オンライン懇談	5/10書面+5/15オンライン懇談 11/5書面(オリパラ奨励賞関連) 2/23オンライン	5/14オンライン 3/18対面
都道府県(支部)総会等	中止	中止・自粛・縮小	7/2大阪府同窓会100周年 ※保護者会合同 12/18地方実演会(佐賀県)
教育実習直前指導	見送り・個別指導	オンライン実施	オンライン実施
重点事業等	緊急学生支援 (雄渾奨学金2,100万円)	ウイズ・コロナ研究 支部支援(Zoom接続等)	就活応援イベント 雄渾奨学金追加支援500万円 新春名刺交換会
広報活動	会誌9号等	会誌10号等	会誌11号等





# 令和4年度 重点事業 『就活応援イベント』実施報告について

令和4年度 重点事業「就活応援イベント」を、学生支援センター 学修・キャリア支援部門との連携により、就活 KICK OFF～これに参加してスタートラインに立つ～の第2部として、令和5年1月11日(水)に開催いたしました。

本イベントは、在学生の今後の就職活動及びキャリア支援の充実を目的に開催したものです。日本体育大学同窓会として、母校入学者の多くが教員志望である一方、企業就職者が5割を超える現状に焦点を当て、先輩(講師2名)が体育教師を目指して入学後、企業へと進路変更した動機・経緯、現在の状況等の実体験をトークセッション形式で実施しました。

例年、学部3年生を参加対象者として開催していたようですが、現状を広く周知したいと考え、保護者の皆様や同窓会(全国50支部)の方々にもご視聴いただけるよう、YouTubeでのライブ配信も行いました。

また、都合がつかず、当日ご参加いただけなかった方々向けに、令和5年3月31日までアーカイブ配信されていますので、是非ご覧ください。今後の就職活動の一助となれば幸いです。

第1部のオープニングでは、日本体育大学応援団がステージに登場し、就活生の皆さんに力強いエールを送る感動の一幕がありました。続いて、株式会社マイナビのキャリアアドバイザーより、就職活動についてのレクチャーがあり、その様子も配信しております。

なお、学内実施イベントのため、関係者のみご覧いただける限定配信となっております。下記 URL につきましては、SNS 等での公開・共有はご遠慮ください。

【アーカイブ配信】 令和5年3月31日(金)までの限定公開

【YouTube 配信 URL】 <https://youtu.be/UZof8DZWKHI>



**第1部 (70分程度)**

**講師** マイナビ キャリアアドバイザー

**内容**

- ▶ 企業の採用はどんな動きをするのか。
- ▶ それに対してどのように対策すれば良い企業と出会えるのか。
- ▶ マイナビを人より上手く使いこなす方法とは。
- ▶ 春休み中にどんなイベントに参加するとタイムパフォーマンスが良いのか。
- ▶ 自己PR ってどんなことを書けばいいのか。

(第1部終了後、約10分休憩時間を取っております。ご承知おきください。)

**第2部 (60分程度) 1:23:07～**

**ゲスト** 見藤 潤さん(株式会社ビズリーチ) 浅野 佑衣さん(株式会社システナ)

**主催** 日本体育大学同窓会



形式:ファシリテーター 大海二朗 校友課長のコーディネートによるトークセッション



見藤 潤さん

浅野 佑衣さん

自己紹介	体育学部社会体育学科2004年卒業 実は転職を2回経験	体育学部体育学科2018年卒業 天職は営業職?!
日体大への進学について	高校時代の体育教員への憧れから進学	母親の志望校が日体大、教員志望でもあり進学
学生時代の過ごし方・思い出のエピソード	4年間寮生活、エッサッサと集団行動を経験。寝ながらでも歩ける?! 練習は缶詰状態。精神的に限界...でも実演会等での成功を考えると今は、いい思い出。	4年間バスケットボール部に所属、集団行動3年、しんどかった。 怒られたり、練習がきつかったり...でも成功した感動、先輩後輩に出会えたことが財産。
就職活動を始めた時期	4年生の12月	3年生の1月
進路の決め手について	人に何かを教えることや次世代を育成することは企業でも出来る。目的・手段をしっかり分けて考え、教員でなくても民間でできることを探した。	教育実習で心が折れたこと、自己分析等から、経過より結果重視タイプだったこともあり、一般企業に切り替えた。
進路決定までのプロセス	学修・キャリア支援部門に行き、求人票を確認、欠員募集に近い状態で、2回くらいの面接ですぐに内定が出ました。自己PR・志望理由は絶対、それと大事なのは価値観、企業のカルチャーと自分がしっかり合うか。	業界は化粧品、業種は営業に絞り、20社程度エントリー、1対1の面接を2、3回で内定が出ました。面接は定番の志望動機、自分の強み、志望会社の知識を根拠り葉振り聞かれた。
転職について	新卒採用の幼児体育は1年で転職、体育会系のアスリート就職支援の会社に13年。在学時に就職活動をしないに等しい状況だったため感覚で50社エントリーしたが、1年の職歴の上、特にスキルもなく、履歴書と職務経歴書で95%落ちた。創業期を経験、入社時4人から13年で252人の従業員に。5年前にビズリーチに転職、大学生のキャリア支援に関わる。	新卒採用の化粧品会社を3年で退職。コロナが流行り始めたタイミングで、自分が成長していくためにITが必要と思い転職した。この採用試験では、中途採用ということもあり、学生時の学修や前職での成果等を聞かれた。
日体大生の強み	非認知能力が高い。※	突き進む力とスピード感
就活生にアドバイス	自分を知る、社会を知る、勝ち方を知る、この3つが出来れば、納得のいくキャリア選択ができる。インプット量をいかに増やし、生産的・効率的にするかが大切。人に頼る、分かっている人に聞く。	学修・キャリア支援部門はぜひ活用してほしい。アウトプットは簡単ではないので、相談してほしい。あと業界はあまり絞りすぎず、社会情勢や傾向を探りながら、自分がしたいことを見つけてほしい。
就活生を持つ保護者へのメッセージ	干渉しすぎない。仕事は辛い、働くのは大変という印象を与えず、働くことは楽しい、すごくパッピーなことだと伝えてあげてほしい。	見守ってほしい。色々意見はあると思いますが、業界や業種、転職等であっても、納得して就職することが大切。反対するのはなく、応援し意思を尊重してあげてほしい。
就活生にエール	習慣や環境を変える。すごくパワーが必要だが、行動を起こさないと結果はついてこない。2人3人だと情報も2倍3倍になる。効率的に生産性高く、自分らしく就活してほしい。	本日スタート地点に立った時点で一歩リードしている。自己管理を大切に時間の使い方、自分の強みを活かしてほしい。体調管理をしっかりしながら、就活してほしい。

※非認知能力とは:意欲・楽観性、忍耐力・自制心、自信、思いやり、コミュニケーション能力などの点数(数値)化の困難なこと

Q 部活と就職活動の両立は難しいのでは?

A 良くないけど正直、あまり寝ていなかった。部活が朝練習だったこともあり、部活後にエントリーシートを書いて、面接行くという生活サイクルでした。両立することは大変なこと、一人で悩まず、先生やコーチ、キャリア職員等に相談しながら、無理のない範囲で、活動してください。

Q 語学力、外国語能力は、どの程度必要?

A 希望する業界や業種により異なるが、あった方がよい。選択肢が広がるので、出来ること多いほど武器になる。この1年で習得できることもあるし、就活で情報収集する際に、社内での公用語を確認することもできる。持ち合わせていて損は絶対ない。

以上が開催の概要ですが、ゲストの両者に共通していたのは、「**ステップアップの転職**」だったと思います。実社会に出てからの振り返り、生き方やビジョンの見直し・再考によって、新たな分野に踏み出すといった柔軟な思考と果敢なチャレンジ精神は、後輩学生の印象に強く残ったことと思います。自分の強みを知ることに加え、企業のカルチャーとのマッチングについても重要な示唆をいただきました。

セッションの締めとなった「**1人で悩み続けることは時間のムダ**」という言葉にはインパクトがありました。同窓会としては、今後も工夫を加えながら、卒業生と在学生を結ぶ実りある交流イベントを企画・推進していきたいと考えています。

# 第59回 体育研究発表実演会

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、平成30年度に青森・秋田大会を開催して以来、4年ぶりに地方大会を開催いたしました。

令和4年12月18日(日)に、佐賀県のSAGA プラザ総合体育館にて、「勇往邁進」をテーマに、当日は雪が降る足元の悪い中ではありましたが、約2,000人の観客をお迎えしての開催となりました。

## プログラム

- |                    |            |
|--------------------|------------|
| 1. 伝統芸能(和太鼓)       | 7. 体操競技    |
| 2. チアリーダー          | 8. 体操      |
| 3. 陸上競技            | 9. 集団行動    |
| 4. フットサル           | 10. トランポリン |
| 5. 新体操             | 11. ダンス    |
| 6. 武道(少林寺拳法・剣道・空手) | 12. エッサッサ  |
|                    | 13. フィナーレ  |



エッサッサ



フットサル



武道(空手)



武道(剣道)



武道(少林寺拳法)



体操競技



チアリーダー



体操



新体操



トランポリン



集団行動

## 懇親会について

体育研究発表実演会終了後、日本体育大学保護者会主催の懇親会を開催しました。開催県として佐賀県同窓会・保護者会の方々をはじめ、本部同窓会関係者、法人・大学関係者、及び九州地区同窓会関係者の約60名が参加、短い時間ではありましたが、より親睦を深めることができました。



## 寄付について

この度、佐賀県同窓会より、大学並びに同窓会にご寄付を賜りましたこと、誠に有り難うございます。書面をもって厚く御礼申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



# ワークショップ

2022年12月17日(土) / 19日(月)

体育研究発表実演会 地方大会時の開催としては初の試みでしたが、事前に参加者を調整させていただき、ワークショップを実施いたしました。多くの競技団体にお声がけをいただき、交流が出来たことは、双方にとって、とても有意義な時間となりました。

## 空手 少林寺拳法

場所 SAGAプラザ総合体育館(剣道場 / 小競技場)  
人数 空手 14 ~ 35名 / 少林寺拳法 約50名



## 剣道 フットサル

場所 龍谷高等学校(体育館 / サッカー場(校外))  
人数 剣道 10 ~ 60名 / フットサル 約20名



## 新体操 場所 佐賀勤労者体育センター 人数 約40名

練習方法を見直す必要があると感じ、筋トレも頑張りたい。(小6)

練習が出来る大切さ、教えてもらえる嬉しさを学び、とても楽しく、これからは活かしていくことを教えてもらった。(小5)

波動が苦手だが、動きの幅が出せるよう、筋トレも頑張りたい。(高2)

基礎トレーニング、蛇動や波動、教えてもらった注意点を意識し練習したい。(中1)



## オリンピック講演会(白井健三先生) 場所 県立唐津東中学校・高等学校 人数 約1,000名



目標は手が届く範囲内、夢は届くか分からない、その違いを理解できた気がする。(中1)

緊張は「他の人は得られない感情」、緊張も力に変えることができる。「目標」は数字等で具体的に。目標・夢、理想を現実にするために努力していきたい。(中1)

挑戦した人を讃える気持ち、発言する勇気を持ち、自分の考えを伝えられる人になりたいです。(中3)

白井健三さんを知らなかった。ニュースを見ます。目標を決めて、そこに向かって頑張ります。(中2)

## チアリーダー エッサッサ

場所 伊万里市立大川小学校 人数 約160名

VORTEXの皆さんのように、いつも笑顔で元気でいれる人になりたい。(小5)

スポーツが苦手だけど、エッサッサのように楽しく出来るのもあると知り、少し嬉しかった。(小6)

スタンプを体験、少し怖かったけど、優しく教えてくれて楽しかった。(小6)

とても元気があり、パフォーマンスが良かった。(小4)

元気な声であいさつしているところがかっこよかった。私も元気な声であいさつします。(小3)

ものすごい迫力に感動した。すごかったです。(小5)



どちらも迫力があり、初めて見たので、びっくりした。日体大に行きたいと思いました。(小3)

チアリーダーの皆さんも、エッサッサの皆さんもとてもかっこよく、元気が出ました。(小4)

悲しいことを吹き飛ばして忘れろくらいすごかったです。(小4)

大川小の子どもたち、すごく喜んでいました。30人ほどが日体大に行きたいと感想に書いています。(教員)



## 集団行動 場所 神崎市立千代田中学校 人数 約300名

興味なかったけど、やってみたいと思い、見て学んだことを、やってみよう。(中1)

不安だったけど、優しく丁寧に教えてもらい嬉しかった。皆でやることの楽しさや笑顔が増えることの喜びを学び、仲間を大切にしていきたい。(中2)

協調性が大事。皆が笑顔で楽しそう。皆で成功させる達成感は貴重な体験でした。(中3)

この学習を通して、体育の授業で少しでも練習した成果が出せると良いと思いました。日体大生と交流できて楽しかった。(中2)

明るくて押しやすく、教え方が上手。見ているだけでも十分楽しめる演技だった。これからは意欲的に取り組みたい。(中1)

先人の方々の教えがあったから...というようなお話があり、このことを胸に刻んで、先生たちの話をよく聞いて行動しようと思いました。(中3)



# 同窓会誌発行協力金について－御礼

「日體人」第10号にてお願いいたしました協力金につきまして、これまでに約2,400名の方々からご支援をいただきました。ここに皆様方のご協力に厚く御礼申し上げますとともに、感謝の意を込め、お名前を記させていただきます。(ご了承が得られた方のみ掲載させていただきます。)

## 北海道ブロック

小池春雄、藤田一郎、井戸英樹、篠原静雄、鈴木則行、小谷麗子、鈴木斐子、井戸柳子、前東昭、高橋幹雄、浅野勝喜、多田順一、前多正彦、松本紘一、千葉章夫、小川英男、大西徳明、井淵俊昭、菅野良則、白井義典、菊池ヤエ子、林義寛、齊藤修平、久保田博三、田辺瑞夫、今野靖政、木戸勇、加賀静枝、紺屋正雄、佐藤忠吉、菊地興國、大石敏夫、鍵市勝秀、伊藤初男、三ヶ田紀夫、谷浦隆、大脇恭子、竹田悦郎、棧邦雄、仲野英司、福土正敏、金田隆一、外館静代、榎本眞智子、林紀博、五十嵐卓二、丹野寛、藤田進、佐藤博明、松居英行、井川ゆみ子、渡邊由美子、佐藤佐知子、長内邦男、田中勝義、中木克明、高島千恵、吉田敦一、伊藤光男、生本純一、辻本誠一、高橋志朗、深澤健、柳等、土居昌彦、野田克弘、渡邊宏禎、久光光明、久朗津義晃、山本憲志、松井錦次、三田英郎、佐藤範彦、松井和子、福原成人、牧野克彦、關川輝之、寺島賀寿生、斎藤嘉英、遠藤大地、三村信、秋野ゆい、小山田峻、山田雄照、金子嵩基、眞田涼太

## 東北ブロック

松田弘、秋戸静子、阿保日出一、山田弘、横山正二、宮崎忠治、小枝兼悦、成田昭紀、岩見幸夫、須藤宏、春藤英徳、苔米地克彦、月館智恵子、奥静子、栗村昭雄、下佐裕、赤石眞一、川井忠彦、八戸秀男、宮地善道、山田正明、笹木正信、斎藤和子、外崎千代二、西谷義廣、中田曜子、澤田晴美、田代美紀子、塩谷喜兵衛、川村浩司、廣谷滋、野崎尚文、木村聖一、工藤紳吾、山由美子、野上新二、野牛滋美、山村雄子、大柳孝紀、赤川堅蔵、毛江田久雄、嘉藤晋作、山崎澄子、加藤隆、升屋文夫、金森幸志、荘司昭夫、餅田茂、阿部由貴子、芦田良子、栗田崇、渡部俊夫、半田祐毅、大野隆夫、大高尚士、長谷川好道、木村正、高田和男、堀川永蔵、古郡朝男、成田道子、小松幸平、尾形隆、鎌田義人、小笠原眞理子、二田隆、松岡伸幸、中川忠博、嘉藤喜隆、大山裕一郎、泉澤輝男、菅野肇、松田信、牧野隆一、高橋範夫、小林早知子、黒田清志、安藤純、村山一郎、柴田衛、鬼川美佐子、青柳正隆、上杉英文、関村幸子、山本暢三、阿部幸輔、三浦和也、伊藤聡、大沼一義、三浦英人、佐藤聖子、谷川原宏一、伊藤淳、小野総志、佐々木崇仁、佐々木信吾、成田郁子、荻田圭、熊谷洋、畠山静香、伊藤あゆみ、原田きよ子、鈴木清次郎、上村佳邦、津志田静徳、高橋徳江、佐藤智征、義本健太、佐藤愛海、吉田柚夏、萬泰英、舩山久子、中村隆夫、設楽紀美子、岸野載子、揚妻典昭、宇野峰子、金野信勇、渡邊一博、小笠原一枝、里義信、富田俊実、難波信昭、荘司敏博、齋藤隆、鈴木淳一、井関滋夫、貝田裕昭、酒井宏幸、齋藤範夫、齋藤秀樹、奥山晴美、土門敦、尾形綾子、岡崎雪華、河合享、志鎌美和、中村秀夫、小川諒也、赤坂英昭、大宮司昭倫、高橋志帆、佐々木優、加藤優歩、石川粹次利、岩山なつき、郡司隆寿、村松圭、小野徳子、岡部文彦、夏井忠宏、鈴木洋一、吉田裕、佐々木信広、星はるか、半澤庄多、関内瑛、高山恭治、鈴木沙弥香、菅野雄太、新田茜

## 関東ブロック

藤崎泰助、仲内豊造、川村千枝、渡辺哲也、永井薫、河田依子、石濱昌子、木原豊、鈴木定治、坂本静、大友稔昭、小倉培夫、小島益男、若林洋子、荒原稔、飯島稔、平塚昌利、須藤正巳、大澤友博、榎戸努、榎戸康、野口洋治、小森哲、羽成邦男、冨澤秀章、渡邊良江、武田弘、飯嶋万喜、冨田功、菊池哲也、後藤あゆみ、幾永昌英、川松貴弘、黒川英樹、長坂亮、高野文利、勝間田優子、大原雅広、仲田芳晃、信太弘樹、大谷直也、大久保隆、元木博紀、櫻井麻紀、山崎ありさ、小野木俊、嶋田榛夏、相摩厚、大岩拓実、中川菜樹、河野慶太、吉岡滯子、大内一輝、岸明男、上环聡、関智則、源佳代子、人見将司、長尾耕輔、大阿久誠矢、日向野由紀、鎌田葉月、鎌田玲菜、明石六郎、小林進、小林靖子、小林孝昭、植原昌子、田中悦子、小林誠、高橋義明、荒川シズ子、湯浅聰子、渡辺捷紀、鳥羽完司、見田照雄、伊藤美代子、角田正三、栗原恵資、廣田誠、小野宏一、岡田恒雄、須賀弘二、河崎和代、福田明美、前田シン子、柴田耕、齊藤光男、橋爪俊夫、久保田忠夫、青木仁嗣、内田康夫、高橋忠、多胡英子、井上哲男、柳岡政一、小池務、江熊美地、横山ひとみ、小山信一、市川慶子、秋山雅仁、福地豊樹、三浦知哉、小林宏、西宮茂、舟喜信生、高橋晴男、遠藤仁、林和也、金井理加、大木正、太田幸治、篠原かずみ、清水武夫、安齊義宏、根岸敦子、長岡玲子、白石雅好、木村喜文、渡辺紀子、赤石国明、中野清治、瀧野千津子、篠宮剛、青山三智子、根岸由美、中嶋伸、金井友希、桑原成美、高橋脩輔、石井弥沙、小林泰正、蜂須静香、星野百合子、長坂道男、木村哲男、田中稔、高野慎三、永嶋龍次、村上朝男、柴田勝夫、田中昭江、町田昶、渡邊隆洋、梅村寿一、種村輝男、柿原順子、松本軍征、林勝彦、城戸啓一郎、明石正和、貳又香代子、中田次夫、台正知、塩田壽久、星野博幸、山本松枝、荒川哲男、大野道夫、大畑春雄、小橋川和子、中野利一、鶴見ひとみ、磯部富美子、清水涉、松本文夫、三上和男、沖野英逸、相馬健司、新島隆光、齋藤茂樹、中川浩子、植山保司、土田正行、小暮三恵、清水信之、及川哲、原田康弘、分須雄一、久保正美、並木正成、中山圭子、菅原康、杉浦正和、高野庸夫、庄司一也、木幡博久、山角厚志、岩川泰己、深谷精一、島田丈晴、井上卓、渡辺博英、高橋良典、仲谷龍太郎、平澤淳、山中久夫、石津光保、大岩辰裕、中田典子、中根一幸、濱田和人、小島輝夫、柳沢啓文、須田悦正、小山洋行、川嶋仁、八木宏行、小野木史絵、齋藤さつき、山田ふみ、金子将也、福島沙織、服部訓彦、宮本一輝、小林靖史、内海隆博、伊月友里恵、原武夫、齋藤登美子、稲垣貴子、齋藤真規、関口咲子、池田かずみ、飯嶋厚、清水頭幸恵、平賀竜斗、山田美月、桑山知香、丸山舞、吉田隆晟、澤畑佑介、末吉龍太、中西健太郎、永田志織、大橋芽衣、高橋恵理子、荻原迪彦、松盛寿子、日向完、大崎保司、本間誠章、出口節、積田麗子、仁谷秀夫、玉田靖人、佐久間剛、宍戸進、瀧澤康二、大山象二郎、野津盛、松本義博、関口一眞、氷海正行、加藤栄一、向井廣志、箕箸博、白井由美子、加藤ひで子、井上曉、戸田正明、軽米満世、軽米良臣、石井一彦、笈川徹、南部健、嶋田武彦、松本義史、豊田武文、川中俊邦、山岸秀規、櫻瀬富美、久保田雅人、小路正和、山崎信幸、山澤光史、西山亜矢子、秋山邦彦、綾部健、木下江利子、村越藍子、堀部純弘、山口深雪、中西浩二、三浦健雄、菅谷匡洋、北矢宗志、鈴木紀子、松本徳浩、鈴木晴奈、鈴木沙苗、正木洋哉、御所脇篤人、小菅由香、篠田和也、馬場真、玉谷昂介、佐野尚哉、山下来夢、小菅由波、堀内健、小野里優、皆川椎菜、寒河江奈央、

永田生江、柳田彰、岩崎三樹、田中一井、内田勇、西森源太、馬場勇、小尾宏子、小林峰子、三宅啓子、中垣範保、小川清志、竹内定雄、朝岡晃一、吉武利昭、島田由明、石川光男、磯部賢次、小嶋笙子、浦田輝子、山崎正介、浅井大忠、花野井春絵、河西瑞枝、舩巴熙、高嶋章、野中庸且、上山良昭、山口久夫、今井梢、柳井清文、竹内正雄、須藤敬子、春日清文、近藤光男、田口ヤス子、坂見敏夫、佐尾山秀治、福田芳枝、山口光恵、小林清美、高橋菊喜、酒井治子、井田洋、吉村辰明、榎本清、川口法正、浅利敦子、村越みどり、桜庭清徳、江口正信、安藤慶子、橋本昇、赤堀実、小早川ゆり、村上みな子、鈴木正信、内田勲、園田有司、鈴木敬子、角杉美恵子、長島邦彦、藤野雅博、村中宏行、高松清、渡辺千恵子、日野喜美子、柴岡三千夫、山寺忠之、深沢守之、河野隆之、益川三逸、小林幹彦、倉持登、柘植美之、齊藤和子、宮崎小代子、飯室治夫、岡安國雄、長瀬直子、飯田圭一郎、大西修、大越洋一、郷登、竹原勝博、武藤千賀子、宇野亮、安藤達二、菅原淳一、池田伸二、瀬戸徳美、望月幹子、北川浩、星幸昇、外山僚一、石場隆雄、柳田友浩、鈴木昭生、高山和徳、太田久人、大谷州央、吉澤猛、町田信行、池谷俊彦、永島昇太郎、木村博之、益子久、清水健司、立岩京子、幡野明弘、須藤留美、武岡イネス恵美子、館尾恵聖、齊藤直子、田中隆文、茂木友子、下井浩司、猪俣由加、佐々木敏夫、花澤智子、瀧澤瑞記、中井康夫、廣瀬元、土屋幹雄、脇若綾、合羽真紀子、神保幸次郎、大野田康博、中原知美、大堀滋子、井田良子、川上辰五郎、西川陽一、山崎愛子、角杉直美、本橋慶彦、丹羽優介、田村徳隆、戸崎高雄、藤倉謙次、鈴木伸洋、原田正之、柳澤奨吾、古茶翔、祝弘樹、首藤文子、平野光家、浅沼航平、高橋千郷、山内健太郎、佐々木魁士、山寺海里、佐藤年香、武藤拓己、平井将太郎、奈良勇太、伊藤瞭汰、藤田幸、村上茉愛、須山香菜、野口祐美、山邊恵美子、中島郁、近藤美玲、内藤拓利、木村恵里佳、坂下義徳、松井悠太、井筒紫乃、工藤友記子、伊藤三重子、川島久美子、酒井利男、岩波和雄、宮根清、高貫洋子、眞如紀子、山崎文夫、佐藤鐵太郎、岩下聆、松田治廣、千葉吟子、大澤宏子、長谷川陽一、山崎靖雄、上平雅史、小滝紘一、伊澤俊彦、月岡靖夫、白木靖博、中島晴規、山崎博明、武井紀世海、下内義光、大内哲彦、今野陸夫、迫嘉邦、越水清、中根健司、秋山寿志、小川幸三、久郷信義、川端重義、野々山昭夫、吉井和夫、入澤隆、江藤茂、藤原三津男、杉山嘉俊、多胡恒治、榎原義弘、榎原泰子、栢沼行雄、高橋和志、小室正明、松浪健四郎、森田淳悟、塚越富夫、勝又信悟、吉野照雄、金井茂夫、堀川政子、藤原秀樹、清田寛、大平和幸、岡本幸子、吉本昇、宮崎弘子、大沢興助、鈴木満、山村まゆみ、真崎晶一、塩谷和雄、青木信子、荒木祐治、長村成子、里見美彦、塩谷淑子、田中一次、森谷宏、中村ふじ、山田一夫、吉田美苗、荒木達雄、今野正明、邑楽栄二、佐藤喜和子、白井一正、杉崎勝之、須原正行、青島純夫、小泉政貴、三上則之、大平敦、齋藤美代子、菊地武良、三田敏治、具志堅幸司、巴伸一、吉田和市、早川正人、濱田泰男、土岐真弓、福永いづみ、鈴木利夫、高田佳朗、石原匡、高橋淳子、田口孝男、鈴木一也、後藤克幸、高橋勝美、村瀬善正、倉田昭人、飯島友子、飯塚幸子、國吉康代、中村欽哉、渡邊豊、丹澤卓、米山稔、草柳伸、塚越幸雄、片尾一美、佐藤敦子、白井洋之、野村忠信、山本剛、野村和生、餅原勉、森康敏、内山昇、加藤純弥、村松康、青山直樹、荻原まりな、鈴木世良、秋山桐葉、新井辰雄、西野岳太、木村浩太郎、小林かおり、菊池直樹、久保田善彦、武田和也、藤田ひろ子、石河栄、水島一成、熊谷瑛里、森邦俊、仲田誠、鈴木西、森優太、今関翼、平野浩太郎、植村絵里香、松浦亮、清水拓朗、深町友貴、横郁香、荒井英葉、梶山優里、池口将広、西村碧生、伊藤舞花、渡邊誠二郎、清水富美子、清水剛、宮澤弘美、佐野一彦、古屋武、上野栄子、古屋博正、横森巧、望月大和、藤原良彦、佐々木憲士、田原一孝、渡辺悟、山本秀治、向山正俊、小林幸次、有賀健、藤本俊、小林直樹、名取和仁、杉山理恵、杉山一陽、角田功、吉野正和、齋藤貴之、佐々木千恵、霜村孝、小川智子、橋本祐亮、細川祐哉、文田健一郎、杉山希高、建部竜平、後藤拓也

## 北信越・東海ブロック

金子峰、江端麻美、小島祥子、目黒乃章、星瑞枝、岡田曹志、橋本拓実、吉川静流、北川賢博、阿波加孝作、板屋清孝、瀧脇則子、浦田節子、徳前啓人、島端昌子、木原勝之、田村幸子、寺島清磨、清原正雄、金川尚子、末永金造、岸澤忠司、中沖克美、嶋田ひろみ、中野登、畑孝子、矢後雅幸、菊部望、上田啓二、中林達男、粟田淳子、清水賢、畑下栄志、鎌仲正寿、岩崎修、松下優子、老月守、矢野道宝、宮前仁、高嶋和彦、宮袋誠、池淵直人、野口貴史、金井靖人、大野千晶、坂東隆之、矢野恒宏、藤井古都里、寺下日陽里、福井正幸、長崎桂子、金森清明、川口信明、尾西雅代、柿島誠一、室谷妙子、山本外勝、稲田実千代、谷釜了正、山村和恵、近藤孝純、田中真智子、舩田吉光、松井正浩、上田智加子、高沢智子、竹下正人、亀田博人、新川恵子、福井有澄、西上純一、高野史朗、山本泰子、松田真由美、大矢栄一、上杉芳泰、宮崎聡、村井清彦、庄田精一、大家義浩、新田智治、押田克夫、中田知邦、浅田雅子、畑本真吾、中村英登、室井正人、石田和重、櫻井義之介、島畑奈緒子、木村圭佑、盛一魁星、西崎三恵子、三田村ナルミ、志村陽男、面野支津代、藤田忠雄、金川陽之、西村慶之、坂本兼博、小川原忠直、畠山敏男、高島さつき、阿部登記造、中田あい子、小阪清吉、畠中治男、志々場修二、村中義次、稻沢万里子、北川智津子、武田登己男、細川陽子、山崎聖子、桂田美範、山口満、脇谷観良、坂本欣弥、上野陽子、志々場祐太、川口翔、佐々木利平、柳沢徳枝、今井順子、角田幸代、佐藤冽、奈良井宏美、細田紀一、齋藤治、宮坂忠子、御所窪正義、浦野義和、小林武、由井正巳、内山富之、田中孝幸、佐々木秀治、小口和子、松本寿行、畠山義人、根橋寛、佐野啓明、畠山文雄、竹内義雄、水澤功、依田正輝、鈴木功、中島千明、池田和弘、中澤才幸、北村泰光、北村礼子、武井忠志、菊池毅彦、小林光嘉、横林智子、関孝志、小嶋日出子、麻原恒太郎、宮澤誠、田中健司、高橋善博、田中和幸、柳川慎一、降幡明生、小林晋、小林勇、唐木敏行、鮎澤広正、佐野秀一、木下智宏、荻原大士、滝川翔、大久保翔平、青柳保、堀川太一、井出明日華、大石和男、長東保江、山元みどり、佐橋保、村山美和、石川博義、永田重郎、西島外美雄、八代和男、深澤英雄、河村サダエ、河村俊彦、村田健兒、八木ほづみ、米山巖、今泉尚人、松山光志、池谷孝子、栗原昌子、鈴木晨弘、海野千恵子、飯田明美、内藤克己、増田暢之、鈴木昌子、山下眞里、岩崎勝寿、鈴木照久、渡邊しず子、河村壽浩、大澤満里子、鈴木隆幸、柳下吾郎、渡邊淳子、根本谷信一、中村佑子、杉村敏英、近藤伸明、砂山孝一、大山彰一、太田好信、榎本恵子、勝山由美子、齋藤健二、宇田嘉隆、入山幸子、小野由紀子、大石利夫、依田仁子、佐々木禎、佐藤敦子、加藤智代、村松英子、松田清孝、花島宗一郎、笠井弘昭、片瀬徹、落合直人、山崎陸雄、野崎敦子、飯田瑞穂、杉本芳和、本田高一、鈴木幸、青島信裕、山内信之、大村喜美雄、太田仁美、深沢廣明、山田五郎、荻祐享、中村新治、平岩東、永田健治、秋山義隆、大石友巳、大川知紀、木本恭嗣、藤井あや子、石橋照幸、神谷香子、河村智可、坂部亨、高橋啓伸、井出智子、村上佳宏、山村千宮、大場一成、勝亦俊高、太田航、宮川朋子、永井綾香、堀江直樹、杉浦真由海、鈴木ひかり、浅野進之介、中岡忠、堀勤、本多整、金沢陸、岩倉和彦、熊本宣博、田内久富、塩谷伸晴、桜井通治、池浦孝、辻田康之、庄司睦子、水野遵二、寛健司、服部暢和、桑名成之、猶村七甫、鬼頭乾、伊藤喜久治、井関陽一、高須幸村、波多野壽、石田光良、平松学、加藤隆保、原田照雄、石川謙一郎、杉山裕二、矢野哲二、笛岡宣明、高瀬則光、篠田弘子、横野均、青山勇二、栗田正明、河合敏次、小川眞一郎、柴田一則、田正信、小坂卓生、白井雅則、加藤好治、鈴木睦、早川真澄、水野哲也、加藤彰一、諸星明彦、柴田洋介、松井秀成、藤原照明、伊藤昌典、井口正幸、平井博司、今津逸生、山本聡、谷川勝彦、佐野浩史、天野典雄、山本常夫、大野芳樹、小野功二、富田譲、小池司、松井邦幸、野村博紀、平吹洋子、吉村浩司、衛藤公彦、友松信之、佐藤文能、若原隆男、久保田竜弥、春田典三、河合成始、杉原透恭、松本文弘、山田佳世子、茅野典子、二橋由雄、鈴木真吾、

河邊誠一朗、笛岡実、植田俊介、後藤宣広、橋野智洋、夏目賢希、鈴木賢二、城空輝、大杉昌弘、浅野慎之介、田中瑛士、久保田幸一郎、今井大湧、福井不二男、加藤弘恭、武藤紀久、平山哲了、高垣勝平、西田弘之、中嶋俊美、村居一也、野田善昭、洞口善幸、方井正隆、宮内貞吉、辻潤治、曾我栄作、丸山優、大坪義平、中垣光弘、丸山近、石田仁、谷口律生、今井一三、杉浦春雄、垣下大吾、今西卓、長瀬朋彦、宮部寿、近藤田都哉、寺下行磨、井戸宏文、川上由美子、垣下真吾、辻有富、秦麗ら、吉森茂雄、小野かつ、高田大禮、大崎辰機、伊勢谷和男、乙部満生、山田源嗣、三井幸夫、前田和良、奥田典之、家崎正朗、三ツ矢文彦、柳田陽子、石田誠司、中西章、中島京子、岩谷敏史、伊藤智之、矢野和司、井尻亜希子、田畑珠美、高橋篤志、山本義也、梅枝裕吉、川瀬孝則、内山朋大、松田開人

## 近畿ブロック

岬一夫、花房房子、西堀富子、松下唯夫、清水忠和、阪田喜子、吉田文弥、村岸肇、鈴川英明、中嶋雅己、西本良三、前川和三、丹田克己、田中徹、田中二三代、太田好則、小澤信一、伊藤公英、中村丈、北沢まゆみ、服部英一、田中敦司、稲葉悟、辻田明宏、太田勝之、橋本祐伊知、北村拓己、作本正隆、川口宏、八木橋倫子、山下雄一郎、国府哲也、辻孟彦、中田秀人、伊藤剣介、荻野創、森弘通、尾野嵩、廣瀬禮次、雑賀志志、田中武彦、杉村富雄、西野健、島田美代、藤本務、藤井澄、清水澄彦、東嘉伸、東翠、志智貴美子、辻井義弘、武智英裕、飯塚十朗、根来寛、米山富士子、平井玲子、山田公子、渡部久美子、中林光子、濱崎伸一郎、木下昭雄、山田正夫、渡部光昭、黒田稔、藤井克弥、佐伯洋子、田端昌子、澁田勝彦、和田昭夫、山根武、村田陽、村上珠実、飯塚眞佐子、合志睦子、白井徹男、中村典子、中西一郎、中井礼子、津熊美智子、山田徹、佐納世志子、長谷川浩一、馬頭克史、岩谷元紀、梅田修二、出射省一、佐藤秀記、安部耕司、白石俊次、渡邊宗治郎、大迫均、小林直也、田邊久栄、酒井美明、中尾俊治、山田修、坂井修、草野勇、新宅幸憲、山田稔、上誠一、緒方勇二、正木仁、小須田良子、佐田末勝、小川光、宅間信夫、大西和雄、菅原福子、松浦義昌、大住好弘、南野真吾、齋藤好史、岩下由利子、釜本浩明、奥谷彰男、高橋渡、織田信久、橋本裕之、大西孝尚、菅原昇二、北風和樹、魚澄豊治、山本明彦、寺辻啓介、城越幸一、前田江美子、大門和美、小原伸也、尾崎浩一、山根義文、植田聡、北村雄二、藤本浩、川口智之、辻孝博、坂本宏一、芝谷孝平、岡田敦、朝田浩成、太田秀昭、高橋秀和、中島あゆみ、的場丈矩、岩本晃司、横山聖、近藤静也、佐久間洋甫、樋口黎、三戸口隆盛、飛山夏希、大嶋諒人、樋口耀、酒井盛光、西吉高、土谷里子、土谷秀雄、坂元たみ、花原節子、正木逸代、片岡勝代、柿木章、中村喜則、西岡英明、松村郁弘、柴田美枝、中村幸司、尾形秀明、平谷奈都子、辻井雄亮、石井賢、桑原久仁夫、谿宏之、榎本豊、山崎将伯、中村美子、野呂正人、瀬藤栄津子、魚谷欣志、羽根千恵子、高嶋仁、草田幸子、山本宜史、繁田拓治、小田川正二、青木和教、木原康博、岩本章、森茂一、出口明子、清水秀美、三谷俊二、柴森千賀子、阪木範子、前智博、岡本寿賀子、平澤学、木村栄、田中雅樹、中南桂太、中西順子、南出大伸、山下賢実、柳洋、竹間洋子、鈴木康夫、米山治三、安井清彦、新井嘉壽美、安田敏弘、小松實、小川紀代子、高木稔榮、西村一信、松田憲明、板谷慧一、高見諭、西原紀代子、西川美代子、光川敏郎、山本孝昭、水島宏、鳥住克子、山本洋子、松平忠繁、市橋敬典、阪本勝彦、三宅香、末井健作、三好廣子、大和川明美、楠正彦、白石さだよ、中井重樹、雑賀睦子、本庄義治、野勢恵子、志方良博、車谷博己、野村利光、高寄十郎、藤原正治、丸茂康子、福岡重信、池田正章、金川好延、常深進次郎、長谷川雅清、出口庸介、比嘉悟、栗原栄、西田秀子、木俣正男、上野晃司、前田淑子、久本信子、奥田勇治、山口敏克、岡上國治、藤井晃正、前西義弘、乾多慶士、埴岡俊一、寺井敬、平太義教、村上英明、椿隆保、飯田良平、寺本浩視、澤井勝、松陰英人、井上寿一、岡田勝広、橋本省吾、内藤勝彦、

海老口明、嘉原唱光、角本政隆、島田直紀、高畑卓志、野口哲司、山本千晴、圓尾昌博、奥村一宏、生田真、大槻芳裕、澤田政彦、久保敬、川崎芳徳、松浦初江、手塚広行、森本克隆、澤田佳代子、浅田雅之、松本敏尚、安田太郎、小西浩司、井本健吾、小林力、大霜安裕、迫平陽一、藤原広典、原田宏子、赤堀幸夫、林田克樹、足立竜司、的場久剛、千村啓喜、才内朗雄、達可陽介、大槻宗平

## 中国・四国ブロック

牧野紀史、高木敏行、川崎豊美、野田修、伊藤隆由、福島俊一、坂口允司、松田敏夫、加藤憲雄、福澤美恵子、篠原重義、植田大介、谷本和子、後藤弥、北中純一、民野尚義、森田明彦、小澤敏正、穴戸靖雄、稲毛靖、松山祥子、高山淳、上坂輝、船江昭光、井山勝子、井山充弘、大野典子、荊尾俊、渡部治人、小豆澤盾、新宮和彦、福島弘、小林修平、青山和彦、野田小由紀、塚田幸司、森下孝生、石飛誠治、嘉戸俊士、白根隆、野津広、伊藤晶弘、橋本亘司、彌重太一、岩城新一、岡田公彦、大川恭弘、山本和也、徳永達樹、鐵口蓮、福原麻子、川中弘幸、三浦展廣、植岡英治、柴田俊章、野村秀治、光下正康、山沖博夫、築山寿保、飯田文男、津田美江子、中本厚生、山根洋壮、三上剛、西川弘志、田平一暁、三原征男、三原江美子、網本恵子、吉川美枝子、木村政美、東風上薫、富田平太郎、河村卓三、竹本孝子、平田徹、奥原滯子、松村允子、奥平整、青坂征弘、柳川静江、橋本礼子、谷口和子、采谷義秋、田中和夫、土肥恰子、田村正克、山田信、平尾俊正、松尾和恵、古本幸治、平岡崇、岡本邦彦、砂田恭明、倉岡克栄、黒田玲子、山根勇、諏訪本光、正木文雄、水野克成、谷岡憲三、古川昭生、大原博文、高橋正行、田川信昭、宇根昌範、田淵秀彦、岩田孝司、折本浩一、畠中和樹、岡本邦浩、湯浅光範、細内正彦、福本智恵美、山内茂、石本義隆、因幡和昭、谷口憲史、上村桂司、出口彰、藤猪敏二、矢山精一、川本有美、中川実、岡本耕治、乃美清隆、辻寿子、中野繁、曾根幹雄、島村雅浩、和田耕三、宮地智、石井洋壮、石井克佳、川手一則、熊谷謙次郎、樋口裕志、重森昇、三浦秀行、羽田岳文、前田秀尚、高藤誠、早稲田学、伊場田真彦、宮本誠、永井利明、和田太一、浜田拓、服部融法、三島直己、有場亮介、相星大悟、宗政徳道、山王和明、浅居知子、谷崎大樹、矢山奈保実、中岡洋子、下和田翔平、朝倉健、沖田奈都美、富島誠司、大掛真実、高田充、伊場田光、湯浅佳那子、楨尾渚、秋月亨太、亀田隆一、山本恒夫、竹本正雄、須子義久、岡村克己、中村典男、池元啓朗、森重祐輔、香川八千代、武本雅勇、桑原綾子、小澤喜久江、桑原英雄、吉富依子、沖村冷士、武本喜久代、植竹顕一、江藤修三、勝村靖夫、渡辺靖祐、上成和子、有馬弘、林武美、佐倉弘之甫、岡山忠博、高祖嘉秀、河島信行、中村旗四士、松原健二、梅森雅広、高屋英人、重国修、前田香津美、有田宏子、山根紀行、吉田博実、大浪康司、本川典子、塚田拓司、藤井琢也、小谷敬子、佐々木亘、亀川浩、鈴木三郎、笹原正博、三好尉仁、松嶋伸幸、町田康男、原川信、河村金満、高橋等、大田敏典、古谷章、叶山雅隆、國本英樹、山根浩一、石田大吾、柳田浩司、藤田千鶴、梶尾延行、堀田茂利、岩田ゆき乃、福永敬彦、岡村菜津子、藤山拓之、佐倉徹太郎、佐藤智輝、都倉裕士、黒田良治、平井寿英、近藤芳夫、青木泰斗、丸與健一、宮内隆、上田善一、村井光夫、八木繁喜、渡邊英典、横田茂則、曾谷浩隆、矢間雅司、茨木基良、望月眞代、藤本修己、木内塚己、望月玲於奈、龍山義文、小野純由、西川寛、首藤昌旭、朝井正敏、宇野由男、真木崇、木多一、倉岡正男、近藤克美、五島昌明、吉本茂展、藤田文男、近藤士、澤田国夫、城戸眞勝、桑原英昭、鎌田和平、田窪徹、越智健治、藤田正広、浜田良男、須山三陽、松野敏雄、宇治常春、高橋啓二、神野照一、藤原英志、河野大助、村上克也、兵頭龍哉、岡田光、坂本哲也、近藤慶二、川本康志、伊藤芳明、川崎俊彦、明比宏樹、山田千夏子、入野末子、水田敬二、中内英明、岡崎佐知子、松田満洲男、中島敏彦、林和夫、吉岡成、岡本憲和、田所和仁、片岡由佳、松下昇平

## 九州ブロック

時枝末六、石橋博子、大石洋子、福江訓一、宮崎直子、今石貞夫、青柳志志、曾根田幸代、加来國代、篠崎省吾、止野正信、藤井靖雄、瀬口一利、平山晃、樋口龍之、緒方善政、清川守弘、瀬口俊光、山内則李、甲木武臣、岩本浩、中村鴻二、後藤正之助、牛島英樹、香月輝一、久保山昇、古田福雄、五十嵐洋、岡文恵、眞田澄恵、松枝政己、和佐野健吾、秋峯良二、大場重博、谷口孝文、本田和人、中原保久、楠清茂、服部喜代次、小川琢治、松崎文雄、吉丸善弘、平野清、坂井正芳、志波芳則、柳昭博、田原憲二、有田浩、高橋成隆、小川和明、春本文昭、松尾龍美、松尾礼子、米丸浩文、山崎龍之、森山秀孝、澤田正義、荒木和謙、西亨子、山本信男、今村よし恵、中尾泰弘、渡邊義隆、山本義昭、平位秀敏、今林誠、沖西直幸、木下隆、棕本泰子、小袋是勝、川浪修司、山田耕二、原口洋一、大峯淳子、谷口茂敏、藤本政時、村上健二、白石精子、上妻厚紹、福田安秀、吉田英徳、田中眞太郎、大庭公正、道園久志、峯隆幸、城田尚一、佐々木健一、亀田栄里佳、矢野咲子、渡邊透、大賀俊信、北里暁子、松藤義文、吉松貞勝、青木憲由、井手口孝、野口竜也、名嶋正信、菊地啓子、早川昌吾、西村寛久、金森靖二、上川健士、文野政憲、藤田桂子、汐満由佳、大庭晃一、園田照子、西山博子、竹森良子、米倉久喜、松野宣之、武末悠輝、福島大喜、恵良友也、堀田明孝、山口晟舒、手柴宗一郎、山本世奈、大久保義高、森雅美、白水克明、山下賢治、田代美孝、佐々木峻、鶴丸義則、八田峯男、井上勝英、坂井充、松口鈴子、吉田和治、吉田信代、柳本英雄、牛島考信、古屋壽一、川原康嗣、平石充子、松尾善文、下村健、古賀洋、島一満、長尾一雄、大澤弘一、板山勝城、大久保てるひ、堤保、川副研二、千綿勝彦、河原俊明、久米直、林田茂、山口茂乃、後藤登、吉田早苗、友松正幸、松本健治、五島豊八朗、浦敏明、伊藤義人、佐藤美智子、江頭光男、五島三江、松田信昭、藤岡敬二郎、福貞能章、宮原照彦、川添哲雄、山川和則、森一正、北島重和、藤山聖子、溜美恵子、松本康明、山田稔、井川晃治、遠藤雅己、近藤智昭、中野宏見、熊野晃三、荒川洋一、上片昇一郎、内村和久、長門和治、松井伸英、山下克己、井手かおり、松永六十四、松尾ふみか、安部博、石井マサ子、糸永隆章、松田瑞雄、岡松眞明、幸重和治、福永幹也、外川陽一、石田元彦、内橋正明、岡隆紀、高田修治、廣島忠士、梶田政昭、

## 同窓会誌発行協力金のお願い

今回の「日體人」発行にあたり、同窓会活動と母校の近況をお知らせするとともに会員相互の親睦を図るため、お届けいたします。本誌以降の誌面充実に向けて、引き続き協力金(2,000円)を募りますので、ご協力をお願い申し上げます。

### 1. 同封の振込用紙にてご協力いただける場合

バーコードなし

必要事項をご記入のうえ、通信欄に「卒業年(〇〇年3月卒業)」をお書きいただき、郵便局よりお振り込みくださるようお願いいたします。

バーコードあり

以前、協力金納入にご協力を賜りました方には、払込票にご住所等の情報を印字、コンビニやスマホ決済 (au PAY・PayPay・LINE Pay 等) でのご入金が可能なるバーコードを表記しております。引き続き、ご協力いただけますと幸いです。

### 2. クレジットカードにてご協力いただける場合

クレジットカード払いにてご協力いただくことが可能となりました。

<https://salat.club/nittaidai/>

※旧姓や学籍番号等、ご記載いただけますと助かります。



# NITTAI FAMILY

広がり続ける日體精神



## 日本体育大学荏原高等学校

求めて学び 耐えて鍛え 学びて之を活かす



設立	1904年(明治37年)		
所在地	〒146-8588 東京都大田区池上 8-26-1		
URL	<a href="https://nittai-ebara.jp/">https://nittai-ebara.jp/</a>	TEL	03-3759-3291
入学定員	普通科: 320名 (アカデミックコース / アドバンスコース / スポーツコース)		



## 日本体育大学柏高等学校

健康と信用は最高の宝



設立	1960年(昭和35年)		
所在地	〒277-0008 千葉県柏市戸張 944		
URL	<a href="https://k-nittai.ed.jp/">https://k-nittai.ed.jp/</a>	TEL	04-7167-1301
入学定員	全日制普通科: 360名 (アカデミックフロンティアコース / アドバンスラーニングコース / アスリートコース)		



## 日本体育大学桜華中学校 日本体育大学桜華高等学校

健康・努力・敬愛



設立	中学校: 1994年(平成6年) 高等学校: 1958年(昭和33年)		
所在地	〒189-0024 東京都東村山市富士見町 2-5-1		
URL	<a href="http://www.ohka.ed.jp/">http://www.ohka.ed.jp/</a>	TEL	042-391-4133
入学定員	中学校: 40名 高等学校: 普通科 240名 (アドバンスコース / 総合進学コース・総合スポーツコース)		



## 浜松日体中学校 浜松日体高等学校

積志力行・清節篤行



設立	中学校: 2002年(平成14年) 高等学校: 1962年(昭和37年)		
所在地	〒431-3125 静岡県浜松市東区半田山三丁目 30-1		
URL	<a href="https://www.h-nittai.ed.jp/">https://www.h-nittai.ed.jp/</a>	TEL	053-434-0632
入学定員	中学校: 90名 (男女共学 3クラス) 高等学校: 320名 (選抜コース (I類・II類) / 文理コース / 一貫コース (内部進学者))		



## 日本体育大学附属高等支援学校

體育富強之基



設立	2017年(平成29年)		
所在地	〒093-0045 北海道網走市大曲 1-6-1		
URL	<a href="http://s-nittai.ed.jp/">http://s-nittai.ed.jp/</a>	TEL	0152-67-9141
入学定員	普通科: 40名		



## 日体幼稚園

健康第一主義



設立	1955年(昭和30年)		
所在地	〒158-0081 東京都世田谷区深沢 8-4-1		
URL	<a href="https://nittai-kindergarten.ed.jp/">https://nittai-kindergarten.ed.jp/</a>	TEL	03-3701-4450
入学定員	3年保育: 80名		



## 日本体育大学医療専門学校

生命の尊厳を自覚し、人間として謙虚な心と  
仁愛の心をもった有為な人材を多く輩出する



設立	1973年(昭和48年)		
所在地	〒158-0097 東京都世田谷区用賀 2-2-7		
URL	<a href="https://www.nittai-iryu.ac.jp/">https://www.nittai-iryu.ac.jp/</a>	TEL	03-5717-6161
入学定員	柔道整復コース: 45名 / 歯科衛生コース: 40名		